

生徒指導だより

あふれる知性 ゆたかな心 じょうぶな体
令和3年11月22日 第10号
土浦市立土浦第六中学校 生徒指導部



大丈夫です… は

大丈夫じゃない!



「初めての事故で、こっちもテンパっちゃって。つい言っちゃったんですよね。『大丈夫』って」。Aさんは数年前、交通事故にあった。自転車で三叉路を走っていたところ、斜め後方から車にぶつかられてしまったのだ。

運転手は車を停めて声はかけてきたものの、Aさんが反射的に「大丈夫です」と答えたところ、さっさと走り去ってしまったという。

「立ち上がって、自転車を動かそうとしたんですけど、全然進まないんですよ。良く見たら、車輪が歪んでいました。足もだんだん痛くなってきて…」

Aさんはそこで初めて警察を呼んだが、「『大丈夫』と言ってしまったのなら難しいですね」と言われてしまったのだとか。幸い打撲程度で済んだものの、タクシーで病院に行き、壊れた自転車も自費で処分することになったそうだ。

(引用：弁護士ドットコムニュース)

とっさに相手を思いやる言葉でしたが、後々大変なことになってしまいました。

道路交通法第 72 条によると【当該交通事故に係る車両等の積載物並びに当該交通事故について講じた措置を報告しなければならない。】となっています。

また、交通事故が発生し、それを警察に報告すると、警察は後日交通事故が発生したことを証明する資料(交通事故証明書)を交付してくれます。そのため、警察への報告を怠ると、『交通事故証明書』が発行されません。保険会社は『交通事故証明書』がない場合、保険適用を拒否することがあります。被害者が自身のために傷害保険や車両保険に加入していても、やはり『事故証明書』がないと**保険適用が受けられません**。さらに、加害者になってしまった人はひき逃げとして処罰を受けた事例もあるそうです。もし皆さんが事故に遭ったら、**お互いのためにも警察と学校に連絡**をしてください。



事故って言っても、その時は本当にどこも痛くなかったんです。

事故の痛みと言うのは、後からやってきます。直後は大丈夫でも、必ず病院へ行きましょう。

警察を呼ぶって言われると、なんか悪いことをしたような気がして怖かったんです。

ドキッとしますよね。でも、通報は義務です。体調や状況を確認して、適切に対応してくれるので安心してください。

